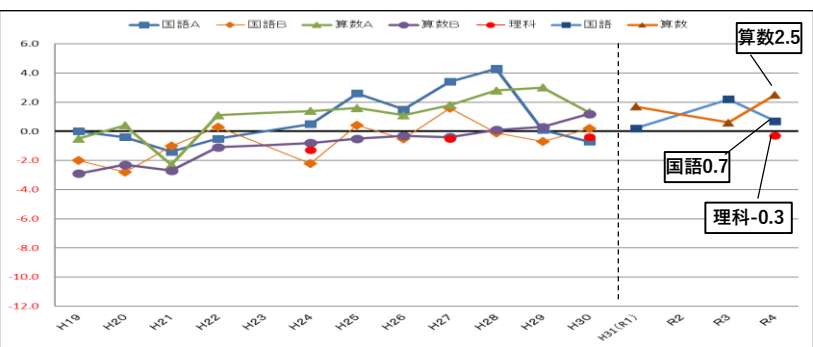
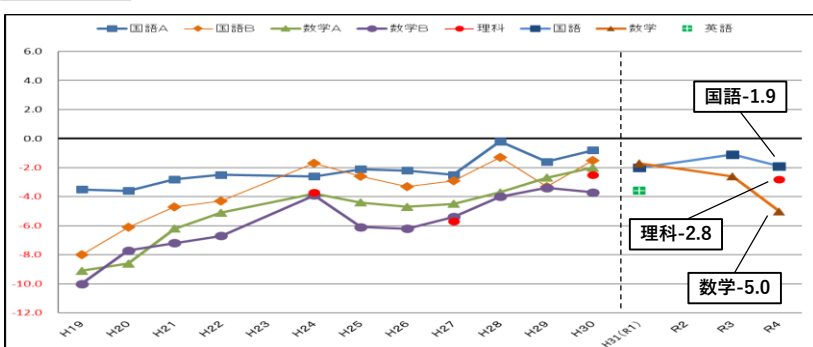


全国学力・学習状況調査結果（平成19年～令和4年度）  
高知県平均正答率と全国平均正答率との差

小学校



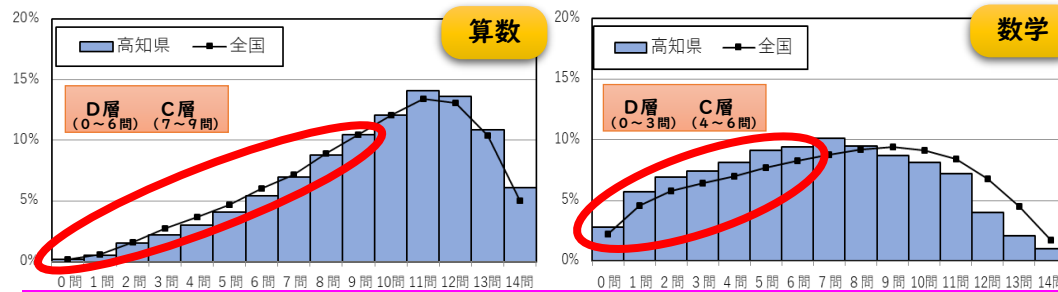
中学校



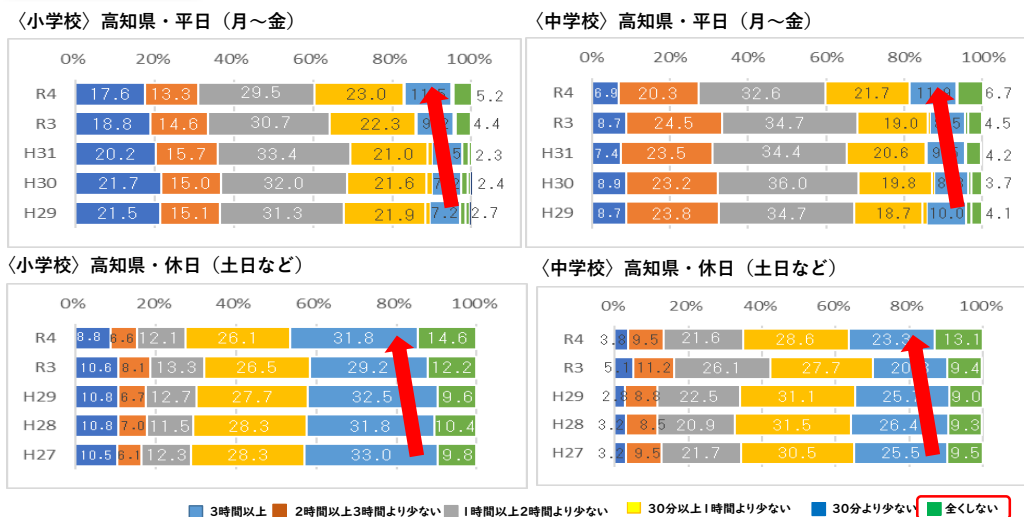
現状

- ◆小学校は、国語・算数ともに引き続き全国平均を上回る結果となった。R3年度と比べ、特に、算数が大きく向上した。
- ◆中学校は、すべての教科で全国平均を下回り、全国平均との差を広げる結果となった。学校質問紙において「生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と強肯定的な回答をした中学校の割合が、R3年度より7.9ポイントと、大幅に減少した。
- 中学校は「教科のタテ持ち」を推進するなど、組織的な取組を推進してきたが、学校全体で目標を共有し取り組む体制や、**学力向上についてのPDCAサイクル**のうち「チェック」「アクション」の部分に弱さがあったと考える。

同一集団から見た正答数分布の状況（H31年度 小6算数 ⇒ R4年度 中3数学）



児童生徒質問紙 学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか



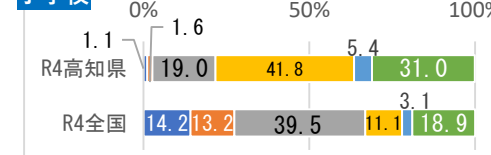
- ◆算数・数学について、同集団でみてみると、H31年度の小学校ではC・D層の割合は全国より少ないか同等であったが、中学校ではC・D層の割合は全国より多くなった。（文部科学省は、調査結果を正答数によって、AからDの4つの層に分け、上位から1番目をA層、2番目をB層としている。）
- 小学校段階からのつまずきへの手立て**が必要である。また、**数学をはじめとする授業改善**や学校全体で学力を定着させる仕組みをしっかりと整える必要がある。
- ◆授業時間以外に、普段も休日も「全く勉強をしない」と答える児童生徒の割合がここ数年増加傾向にある。
- 小学校・中学校ともに**家庭学習習慣の定着**が必要である。

1人1台タブレット端末の家庭での利用状況  
授業（調べ学習）におけるICT活用と学力との相関

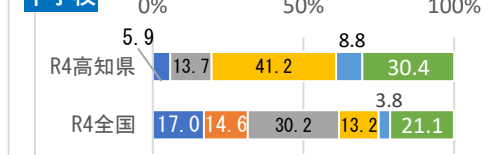
令和4年度学校質問紙調査結果（高知県）

家庭での利用状況

小学校

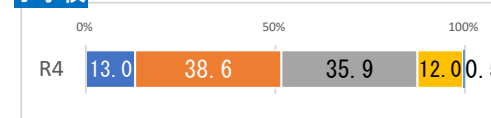


中学校

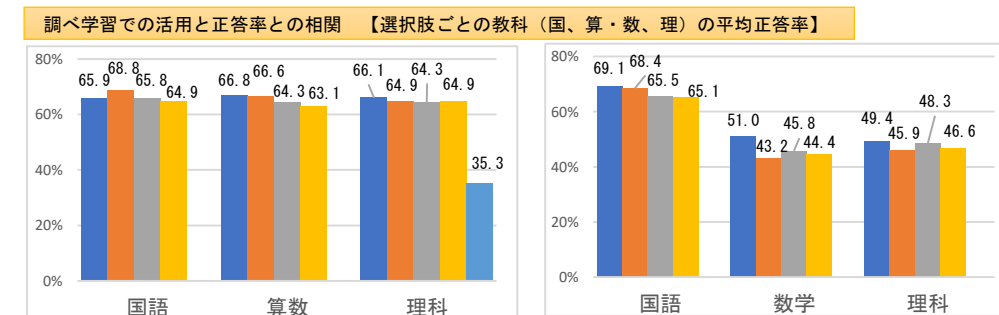
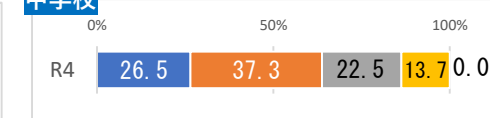


調べ学習での活用

小学校



中学校



- ◆1人1台タブレット端末を毎日持ち帰って、毎日利用させている学校の割合は、小学校・中学校ともに全国より大幅に少ない。
- ◆授業でほぼ毎日活用している学校の割合は、小学校は37.5%（全国比-20.7p）、中学校は52.9%（全国比-2.6p）と、特に小学校は全国との差が開いている。
- ◆児童生徒が自分で調べる場面においてICTを活用しているという学校は学力が高い結果を表すなど、ICTと学力には相関関係がみられる。
- 家庭の通信環境等の課題もあるが、1人1台タブレット端末を持ち帰るなどして、日常的に使えるよう、市町村教育委員会にも発信することが重要である。
- 特に小学校において、**ICT活用**への意識改革や取組を進める必要がある。

課題と今後の取組

**① 中学校のPDCAサイクルの確立**

- 緊急対策** 学力調査の結果を踏まえた意見交換会の実施
  - ・数学で課題のみられる中学校を訪問して授業参観を行い、県・市町村教育委員会及び学校とて、学力向上の取組について意見交等を行う。
  - ・各学校の学力向上のPDCAサイクルの質の向上を図る。
- 緊急対策** 「小学校教科担任制・組織力向上アドバイザー」の訪問指導による徹底
- R5取組** 「教科のタテ持ち」校に配置した主幹教諭連絡協議会の実施
  - ・主幹教諭としての役割を再確認し、各校の取組の改善・充実につなげる。

**② 中学校数学における授業改善**

- 緊急対策** 数学の学習指導を考える会の実施：数学教員対象（学校1名悉皆）
  - （東部10/7・中部10/5・西部10/11・高知市9/26）
  - ・各校が調査結果からみられる課題を洗い出し、数学の学習指導の具体的な方策について協議する。
  - ・当会終了後、各校において教科会等で改善策を策定する。
- 緊急対策** 数学授業改善プランに係る指導主事等の訪問強化
  - ・指導主事が全中学校を訪問。
  - ・各校が策定した改善策が授業や取組に反映されているか、授業参観や協議を通して確認する。
  - ・その取組の成果を県版学力調査で見取る。
- R5取組** 中学校5教科授業改善研究協議会の実施：5教科担当教員対象（各教科学校1名悉皆）

**③ つまずき（低学力）への対応**

- 緊急対策** 県作成デジタル学習教材の活用促進
  - ・算数・数学：単元テストの繰り返し活用促進
  - ・個に応じたシート（つまずき用、チャレンジ用）の活用促進
- R5取組** 基礎学力の定着に向けたデジタル技術の活用の推進
  - （例）デジタルドリルを組織的・計画的に活用する等、効果的に学力補完をするための実践研究を行い、その取組を県内に発信する。

**④ 家庭学習習慣の定着**

- 緊急対策** 学力補完の取組の好事例発信
  - ・組織的にデジタルドリルを活用し、学力調査の結果が向上した中学校の取組

**⑤ 小学校のICTの活用**

- 緊急対策** 高知の子どもICT応援プロジェクトの実施
  - ・児童対象にタイピングの技能やタブレット端末の活用レベルに応じて級を認定したり、作品コンクールを実施したりすることで、小学校のICTの日常的な活用を促進する。

**【500人規模の中学校の事例】**  
全学級でデジタルドリル（終学活の10分間に位置付け）

月	火	水	木	金
国語	社会	数学	理科	英語

成果 ●プリントでは取り組みにくかった生徒も**意欲的に**  
●プリントの配付や採点が不要 → **教員の負担軽減** 等

**市町村の主体的な学力向上策・学校の組織的な取組の推進**

- 緊急対策** 各管内の教育長会や地教委訪問における発信
  - 成果・課題と今後の取組について説明し、危機感を共有することで、市町村の主体的な学力向上策への意識を高める。
- 緊急対策** 各市町村の校長会における周知・徹底
  - 成果・課題と今後の取組について周知し、学校の組織的な学力向上対策の推進を図る。